



自衛隊群馬地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCE GUNMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

群馬警察（高崎署）から表彰



消防・警察・自衛隊
公安系合同説明会



警察・自衛隊合同説明会



群馬警察（高崎署）から表彰



自衛隊群馬地方協力本部高崎地域事務所（所長 土屋3尉）は令和3年1月、群馬県高崎警察署（署長 高井警視正）から「警察行政に理解を示し警察の業務運営に多大な貢献した」として感謝状を贈呈された。

高崎地域事務所は、令和元年度から高崎警察署と連携して合同説明会を開催しており、令和2年2月には、群馬県で初の自衛隊、警察、消防の3機関による公安系合同説明会を開催し、好評を得ることができた。

今年度は高等学校5校、大学1校の計6校で合同説明会を開催して、幅広い仕事内容ややりがい、女性活躍の場が広がっていることなどの魅力を説明した。各学校の理解を得るとともに学生の志願者増加に繋げることができた。

群馬地本は、今後も警察及び消防と連携を図り、公安系合同説明会を実施して募集対象者を獲得し、優秀な人材確保に努めていく所存である。

陸士就職補導教育

自衛隊群馬地方協力本部（本部長・井ノ口防衛事務官）は二月三日から四日までの間、新町駐屯地において令和二年度陸士就職補導教育を実施した。

本教育は、群馬地域援護センターが担任し「社会・労働情勢等職業選択に必要な知識を付与するとともに、ビジネスマナー教育を実施し、具体的な就職準備の資とすること」を目的に行われ、概ね一年後に任期満了を迎える二十二名の隊員が参加した。

初日の講義では、「就職援護情勢」について援護センター長が説明し、「再出発に向けて」と題して自衛隊援護協会の進路相談員が講話した。また、職業適性検査も実施し、隊員は真剣に取り組んでいた。

二日目は、「予備自衛官等制度」について予備自衛官室長が、「年金制度」について新町駐屯地業務隊の担当者それぞれ説明した。

また、「スーツの着こなし方」について株式会社「ナカ」が、注意点について解説した（写真）。午後からは、部外講師による「ビジネスマナー教育」において、「マナーの基本」、「ビジネスでの話し方」、「電話対応の基本」、「職場コミュニケーション」等を実施した。

参加した隊員からは「自衛隊を辞めてこれから生きていく上で必要なことを多く学べました。特に年金とビジネスマナーは、知らない社会に出てから困る事なので、今回の知識に加え、自ら調べて後で困る事のないようにしなければならぬと感じました。爽りのある教育でした」との声が聞かれた。

